

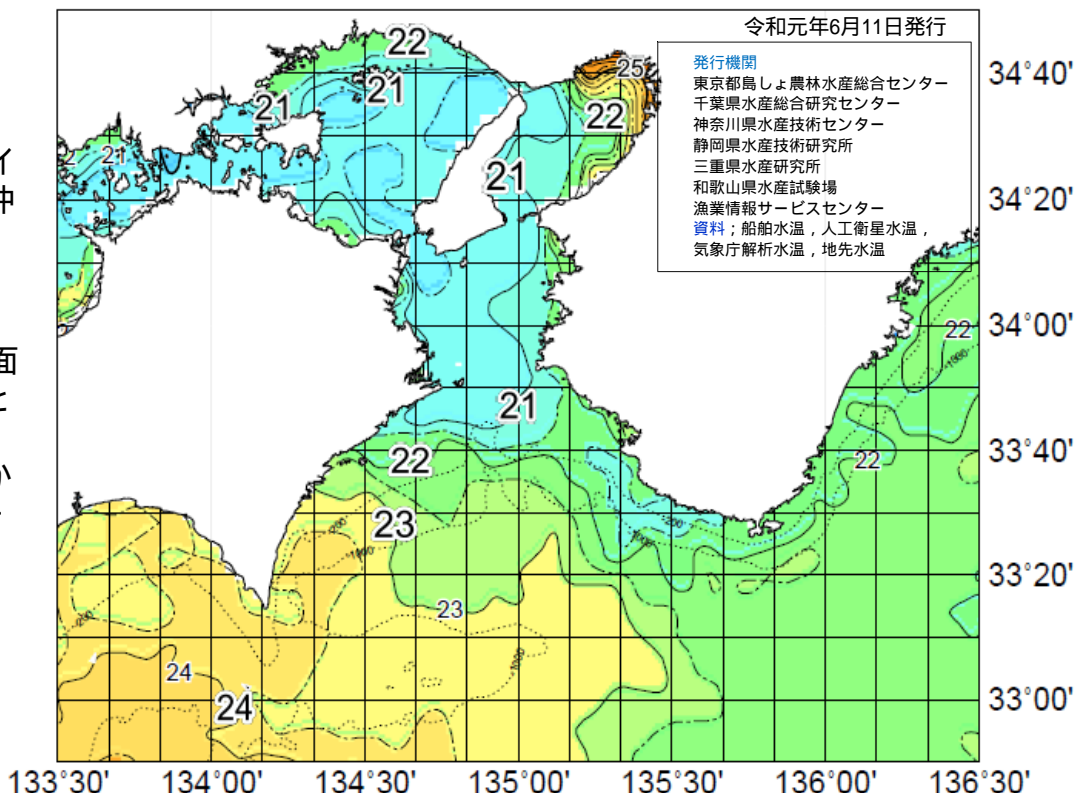
海況

1. 周辺海域の水温 (6月5 ~ 6月11日)

黒潮は室戸岬沖では42マイルにあり「やや離岸」、潮岬沖では120マイル前後にあり、引き続き「著しく離岸」となった。

6月11日の徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道ともに昇温して20~21 台になった。海部沿岸では黒潮からの暖水波及が弱まり、20~23 台で前週に比べてやや低下した。

黒潮の表面水温は24~26 台となった。



黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：~25NM やや離岸：25~45NM 離岸45~65NM 著しく離岸：65NM~
潮岬沖 接岸：~26NM やや離岸：25~56NM 離岸56~86NM 著しく離岸：86NM~

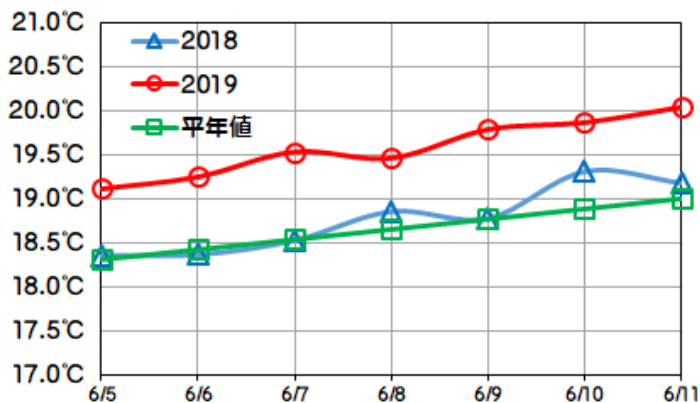
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温 (6月5日 ~ 6月11日)

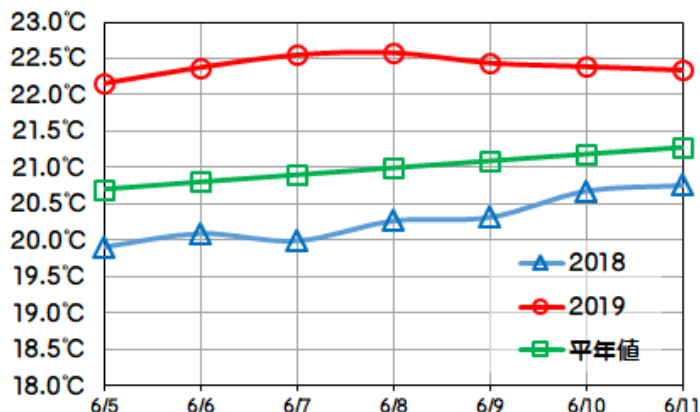
鳴門地区の水温は、「やや高め」の19.1~20.0 で推移した。

日和佐地区の水温は、「やや高め」から「高め」の22.2~22.6 で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1982年~2016年の平滑平均値

3. 週間予報 (6月12日 ~ 6月18日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」の20 台、日和佐地区で「やや高め」から「高め」の22~23 台で推移する見込み。

漁況 2019年6月3日～2019年6月9日 (旧暦4月22日～4月28日)

先週に引き続き暖水波及にともない沿岸までシイラ、マルソウダが来遊した。紀伊水道ではハモ中心の漁獲となった。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが増えて75ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に7.4ト、タチウオが0.9ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく減って小小主体に0.7ト、ブリが減ってめじろ主体に0.7ト、マアジが減って小小主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網ではハモが減って中主体に2.4ト揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

小型定置網では、マイワシが減って1.3ト、ウルメイワシが0.5ト、シイラが大きく減って0.5ト水揚げされた。

大型定置網では、シイラが大きく増えて小主体に23.3ト、マルソウダが大きく増えて13.7ト、マアジが大きく減って1.5ト、ブリが増えてめじろ主体に1.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)		銘柄	前週比※
				漁獲量	1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	75,000	750		↗
	延縄	78	ハモ	7,370	94	中主体	→
		75	タチウオ	858	11		→
		15	イサキ	720	48	小小主体	↘↘
	小型定置網	18	ブリ	673	37	めじろ主体	↘
		20	マアジ	478	24	小小主体	↘
		4	マイワシ	254	64		→
		21	カワハギ	212	10	大主体	↘
		16	マダイ	202	13		→
		44	ハモ	2,407	55	中主体	↘
海部沿岸	小型定置網	13	マイワシ	1,341	103		↘
		14	ウルメイワシ	490	35		→
		13	シイラ	467	36		↘↘
	大型定置網	5	シイラ	23,281	4,656	小主体	↗↗
			マルソウダ	13,690	2,738		↗↗
			マアジ	1,458	292		↘↘
			ブリ	1,121	224	めじろ主体	↗
			イサキ	899	180		↘
	いわし類	335	67		↘↘		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: